
理研シンポジウム 第22回 分析・解析技術と化学の最先端

日時：2024年12月17日（火） 12:55-17:30

会場：理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール（和光市）

参加費：無料

プログラム

12:55-13:00 趣旨説明

13:00-13:40 分子配列制御による自己修復ポリマーの創製

侯 召民（理研 CPR 侯有機金属化学研究室/理研 CSRS 先進機能触媒
研究グループ）

13:40-14:20 鉄鋼用材料の構造解析への固体 NMR 手法の応用

奥下 慶子（日本製鉄(株)/理研 BDR 先端 NMR 開発・応用研究
チーム）

14:20-15:00 特異な構造を有する有機色素の合成と物性・機能の解析

神野 伸一郎（愛知学院大・薬/理研 CSRS 分子構造解析ユニット）

15:00-15:30 休憩

15:30-16:10 血液検体を対象とするワイドターゲットリポドミクス

徳岡 涼美（東大・院・医・リポドミクス社会連携講座）

16:10-16:50 分子シミュレーションで迫る糖鎖の構造—機能相関

李 秀栄（医薬健栄研 AI 健康医薬研究センター）

16:50-17:30 質量分析を用いて探る先史人類の食行動

庄田 慎矢（奈良文化財研究所）

17:50-20:00 意見交換会：第一食堂(統合支援施設 1F)

会費: 4,000 円、学生: 2,000 円

参加申込：意見交換会参加の有無を記載の上、メールにて
koshino@riken.jp までご連絡ください。
